

創薬 科学科

1年次

2年次

3年次

4年次

教養教育の講義等を主体とし、専門分野の導入教育も並行して実施する。

物理、化学、生物系の基礎科学を主とした講義科目と物理、化学系の基礎薬学実習を実施する。

生物、薬剤、薬理、衛生、医療系分野を主とした講義科目と基礎薬学実習、及び総合薬学演習を実施する。

卒業研究を主として実施する。医療薬学の講義も選択可能である。また、卒業後のキャリア形成を考える講義を行う。

専
門
科
目

教
養
科
目

基盤教育	薬学概論		薬学英語 I	薬学英語 II	専門英語 I	専門英語 II	薬学経済
	医療学入門	解析学 外国語 情報処理学	行動科学		統計学	総合薬学演習 富山のくすり学 製薬企業と創薬	知的財産概論
海外薬学演習 I、II（1-4年次対象の自由単位）							
物理系薬学		物理化学 I	物理化学 II	応用分析化学	構造生物学		必修科目 選択科目 実習（必須）
		物理学 物理学実験	分析化学 実習（分析化学） 実習（物理化学 I） 実習（物理化学 II）	生物物理化学	薬品物理化学 トランスポーター論		
化学系薬学	基礎有機化学 I	基礎有機化学 II	有機化学 I	有機化学 II	創薬化学		
		基礎化学 化学実験	有機化学 II 物理有機化学	無機化学 機器分析 実習（有機化学） 実習（分子機能）	合成化学 ケミカルバイオロジー I ケミカルバイオロジー II		
生物系薬学			生化学 I	生化学 II	生体調節科学（注2）	先端分子薬学	注1：この科目は旧「生命情報科学 I」に相当する。 注2：この科目は旧「生命情報科学 II」に相当する。
		生命科学 生物学実験	生理学	細胞生物学（注1） 微生物学 人体機能形態学	実習（生化学） 実習（微生物学）	病原微生物学 免疫学 分子遺伝動物学	
衛生薬学					衛生薬学 I 実習（衛生化学） 実習（放射線基礎学）	衛生薬学 II 衛生薬学 III	
和漢薬学			和漢医薬学入門	東洋医学概論	★和漢医薬学演習	天然医薬資源学	★東西医薬学 II
			生薬学	実習（生薬学）		★東西医薬学 I	★和漢医薬学実習
和漢薬コース（★；コース選択者に開講）							
医療薬学					生物薬剤学 基礎薬理学 I 実習（薬剤学） 実習（薬理学） ●夏期講習（応用製薬）	物理薬剤学 医療薬剤学 基礎薬理学 II 病態薬物治療学 I 薬物動態学 実習（生物化・製剤学）	病態薬物治療学 II 病態薬物治療学 III
					応用製薬コース（●；コース選択者に開講）		
薬学研究						研究室 配属	卒業研究 発表会 ポスター

▶▶▶▶ 学士（薬科学）に求められる能力

幅広い知識

人文科学・社会科学・自然科学・健康科学の諸分野を学際的に捉え、多様な文化的・歴史的背景を持った地域や社会を理解し、行動する能力を身に付けている。

専門的学識

物理学、化学、生物学等に基づき、伝統医薬学から先端薬学までの創薬科学に関する幅広い学識基盤を構築・展開し、医薬品創出を目指した研究・開発に取り組むために必要な創造的思考力と実験技術等を身に付けている。

問題発見・解決力

自然現象に対する強い知的好奇心・探究心を持って薬科学関連分野の課題に取り組み、学術情報の収集・分析及び実験等の研究活動を通して得られる結果を論理的に考察し、解決に向けて議論・発表できる能力を身に付けている。

社会貢献力

医療人としての規律、倫理等を守り、患者及び医療に関わる全ての人々の立場を理解しながら、創薬科学研究者として果たすべき役割を認識し、地域と国際社会に対して責任ある行動をとる能力を身に付けている。

コミュニケーション能力

他者との積極的な意思疎通を図ることで、豊かな人間関係を築きながら自己の成長へとつなげることに努め、異なる考えや言語文化を有する人々の立場を理解し、誠実かつ柔軟なコミュニケーションをとる能力を身に付けている。

人文科学系	4単位	理系基盤教育系、医療・健康科学系、外国語系、及び情報処理系の科目は、専門教育に基礎教育として連動する。
社会科学系	4単位	
自然科学系	自由科目	
理系基盤教育系	15単位	
医療・健康科学系	2単位	
総合科目系	選択科目	
外国語系	6単位	左記単位を含め合計38単位を1年次に修得する。
保健体育系	1単位	
情報処理系	2単位	